

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [教育活動](#) | [労働組合の目的と働き](#) ⑤ [運動目標](#) (4)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[🔍 キーワード検索はこちら](#)

労働組合の目的と働き ⑤ [運動目標](#) (4)

＜目的達成に必要な運動目標＞ ④

◆力と知恵を出し合う活動

【互助・共済の拡充】

労働者（労働組合）がお互いの「物心両面の豊かさ」を求めようとするとき、どこかに誰かに要求し、働きかけ、闘うという【対〇〇】の活動のほかに、自分たちの（組合内の）助け合い、力や知恵の出し合いが、きわめて大切な活動となります。わけでも【心の充実】のためには、人間同士の心の触れ合い、信頼し合う、頼りにし合う、能力を認め合う、といったことがなくてはならず、それらは労組のレクリエーション活動やサークル活動、世話役活動などで創り出されるのです。

また互助活動の柱の一つとして「共済」があります。みんなでお金を出し合い助け合う制度・活動です。我が国の労働運動では、企業別組合の慶弔見舞金程度から始まり、それが産業別組合の見舞金、さらには全労済のような産別・単組の枠を超えた全国的規模での火災共済、自動車共済などに発展、最近では年金共済や医療共済までに拡充されています。これらはいずれも組合員の「安心」を大きくしようとするものであり、「心の豊かさ」のために今後さらに力を入れなくてはならない活動です。その他、法律相談・生活相談の活動、対話活動、生活サービス活動、旅行など各種情報の提供といった日常継続的な活動も大切です。

◆ for the 組合員

「労働組合は何のために存在するのか」を、いま一度、別な角度から再認識しておく、それは一にも二にも「組合員のために」「組合員の利益のために」です。まさに「for the 組合員」です。

すべての判断は「組合員のために」という物差しで測られ、すべての決定は「組合員のために」という磁石で方向づけられ、すべての判断は「組合員のために」という物差しで測られ、すべての決定は「組合員のために」という磁石で方向づけられ、すべての活動は「組合員のために」というエネルギーで進められます。

その「組合員の利益」が目先のことだけでなく中長期的の見通しに立つものでなくてはならないこと、少数者でなく組合員の最大多数の利益でなければならないことは、いうまでもありません。

労使が協力し企業・産業の発展に努力するのも、それが労働条件の向上につながり、雇用の安定をもたらすからであり、さらには産業・企業の発展が日本経済の成長、国際競争力の強化、国民生活の向上となり、それがまた組合員の生活向上へつながるからです。

労働組合の政治活動も政党支持も、組合員の利益のために行われるもので、当面の改革要求の実現、将来のより良い国づくりを組合員が強く望んでいるからこそです。

いまや労働組合は、産業・企業にとって無くてはならないものであり、社会的にも無ければならない存在ですが、それも「組合員のために」こそやる活動が、結果として「会社や社会のためにも存在する」ということになっているからです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

